

第 61 年度（平成 26 年度）事業報告

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

第 61 年度（平成 26 年度）事業報告

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施した。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

平成 26 年度の研究助成金として、研究助成（全国対象 20 件 1,000 万円）、および特別研究助成（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象 2 件 500 万円）、計 22 件 1,500 万円を交付した。

1) 研究助成（50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20 件 計 1,000 万円

2) 特別研究助成

（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象、250 万円/件・年）：

2 年目：1 件、 新規：1 件

計 2 件 計 500 万円

総計 22 件 計 1,500 万円を交付した

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 研究助成企画および選考

(1) 平成 26 年 5 月 29 日 企画会議

平成 27 年度特別研究助成の募集テーマの選考および募集要項等の審議を行い、募集テーマを「生体機能の制御に基づく革新的創薬研究」に決定した。また、募集方法については、募集要項を大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下の大学等研究機関へ郵送および篷庵社ホームページへの掲載により公示すること、また、募集期間を平成 26 年 9 月 1 日から 10 月 31 日とすることを決定した。以上の結果について、平成 26 年 6 月 6 日に選考委員長から理事長へ答申した。

(2) 平成 27 年 1 月 14 日 選考委員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

平成 27 年度被助成者の選考等を行い、特別研究助成 1 名、研究助成 5 名を決定した。以上の結果について、平成 27 年 1 月 28 日に選考委員長から理事長へ答申した。

(3) 平成 27 年 2 月 12 日 推薦委員会（書面開催）

平成 28 年度研究助成の 5 名の推薦委員を本財団外部理事（6 名）および外部評議員（7 名）からなる推薦委員会で互選により選出した。

3. 研究成果報告【別紙2】

第33回研究助成発表会を平成26年7月15日、塩野義製薬株式会社医薬研究センター（大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号）において開催した。

4. 助成の募集

平成27年度「特別研究助成」の公募を行った。

III. 財団運営の概況

1. 理事会の決議事項

(1) 書面開催：平成26年5月25日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題1：定時評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

議題2：第60年度（平成25年度）事業報告の件

第60年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）事業報告書について原案通り承認可決した。

議題3：第60年度（平成25年度）決算の件

第60年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）決算について原案通り承認可決した。

議題4：平成26年度収支予算書修正の件

平成26年度収支予算書を修正することについて原案通り承認可決した。

(2) 平成26年6月16日

議題1：理事長（代表理事）選定の件

原案通り承認可決した。

議題2：第60年度（平成25年度）定期提出書類の件

原案通り承認可決した。

議題3：保有財産・資産区分の件

原案通り承認可決した。

議題4：平成27年度特別研究助成募集テーマ決定の件

原案通り、平成27年度特別研究助成の募集テーマ「生体機能の制御に基づく革新的創薬研究」とすること等、原案通り承認可決した。

報告事項：理事長および常務理事は平成26年度1度目の業務執行状況報告を行なった。

(3) 書面開催：平成26年12月1日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題1：評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

(4) 平成27年3月12日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田1丁目8番8号）において開催）

議題1：第62年度（平成27年度）事業計画の件

第62年度（平成27年度）事業計画として研究助成金の交付件数を22件とすること及び平成27年7月31日に第34回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 2：第 62 年度（平成 27 年度）収支予算に関する件

第 62 年度（平成 27 年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題 3：財産区分変更の件

今後の法人会計費用不足解消のため、公益目的保有財産（1 号財産）である特定資産の塩野義製菓株式の一部を公益目的事業に必要な収益事業その他の業務又は活動の用に供する財産（2 号財産）に変更すること（平成 26 年 6 月 16 日理事会において承認済）について、変更する株式数を 14 万株とすることを原案通り承認可決した。

議題 4：平成 27 年度研究助成金受領者決定の件

平成 27 年 1 月 14 日開催の選考委員会の決議通り、平成 27 年度新規助成者について特別研究助成 1 名、研究助成 5 名を原案通り承認可決した。

議題 5：「役員・評議員の選任時の年齢制限についての細則」制定の件

役員及び評議員の就任時における年齢を満 80 歳未満とする制限を設けることについて、原案通り承認可決した。

議題 6：定款変更の件

名誉理事の任命ができることを定めるため、定款の変更を行うことについて原案通り承認可決した。

またこれに伴い「名誉理事規則」を制定し、定款の変更に合わせて運用することを報告した。

報告事項 1：理事長は平成 26 年度 2 度目の業務執行状況報告を行なった。

報告事項 2：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」変更の件

2. 評議員会の決議事項

(1)平成 26 年 6 月 16 日定時評議員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：第 60 年度（平成 25 年度）事業報告の件

第 60 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）事業報告書について、原案通り承認可決した。

議題 2：第 60 年度（平成 25 年度）決算の件

第 60 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録について原案通り承認可決した。

議題 3：第 61 年度（平成 26 年度）収支予算書修正の件

原案通り承認可決した。

(2)平成 27 年 3 月 12 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：第 62 年度（平成 27 年度）事業計画の件

第 62 年度（平成 27 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 22 件とすること及び平成 27 年 7 月 31 日に第 34 回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 2：第 62 年度（平成 27 年度）収支予算に関する件

第 62 年度（平成 27 年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題 3：「役員・評議員の選任時の年齢制限についての細則」制定の件

役員及び評議員の就任時における年齢を満 80 歳未満とする制限を設けることについて、原案通り承認可決した。

議題 4：定款変更の件

名誉理事の任命ができることを定めるため、定款の変更を行うことについて原案通り承認可決した。またこれに伴い「名誉理事規則」を制定し定款の変更に合わせて運用することを報告した。

議題 5：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」変更の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1:財産区分変更の件

報告事項 2：平成 27 年度研究助成金受領者決定の件

3. 報告事項

(1)平成 26 年 4 月 16 日

大阪府中央府税事務所長宛に平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの「法人府民税の減免申請書」を提出した。

(2)平成 26 年 4 月 22 日

大阪市長宛に平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの「法人市民税減免申請書」を提出した。

(3)平成 26 年 5 月 15 日

大阪市長より平成 26 年 5 月 7 日付「法人市民税減免通知書」を受領した。

(4)平成 26 年 6 月 2 日

大阪府中央府税事務所長から平成26年5月29日付「法人府民税の減免通知書」を受領した。

(5)平成 26 年 6 月 20 日

行政庁（内閣府）へ第 60 年度（平成 25 年度）事業報告書および監査報告書を提出した。

(6)平成 26 年 6 月 20 日

法務局への理事長変更登記を完了した。

(7)平成 26 年 7 月 11 日

行政庁（内閣府）へ理事長の変更届出を提出した。

(8)平成 26 年 7 月 28 日

国税局、大阪府税事務所、大阪市税事務所へ理事長交代の異動届出書を提出した。

(9)平成 26 年 10 月 27 日

行政庁（内閣府）の立入検査が実施された。

(10)平成 27 年 3 月 26 日

行政庁（内閣府）へ役員報酬規程および定款の変更届を提出した。

(11)平成 27 年 3 月 26 日

行政庁（内閣府）へ平成 27 年度事業計画書および収支予算書等の定期提出書類を提出した。

以上

平成 26 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×20 件= 計 1,000 万円)

助成	所属(申請時)	研究者	研究テーマ
4 年目	慶應義塾大学薬学部 薬理学講座	三澤 日出巳	加齢性記憶障害でのシナプス機能を改善する新規認知症治療薬の開発
4 年目	大阪大学・産業科学研究所	笹井 宏明	新規概念に基づくエナンチオ選択的触媒反応の創出と応用
4 年目	大阪大学大学院薬学研究科	赤井 周司	ベンザイン反応を基軸とする生物活性芳香族化合物の革新的合成
4 年目	金沢大学医薬保健研究域 薬学系	玉井 郁巳	トランスポーターを基盤とする創薬と最適薬物療法に関する研究
4 年目	昭和薬科大学薬学部	田村 修	新規含窒素 1,3-双極子の開発と応用研究
3 年目	広島大学大学院 医歯薬学総合研究院	佐々木 道子	立体化学的に不安定なキラルカルバニオンの合成化学への展開
3 年目	静岡県立大学 食品栄養科学部	三好 規之	酸化コレステロール secosterol の生物活性機構解析
3 年目	滋賀医科大学	小島 秀人	糖尿病性神経障害の治癒をめざす TNF- α の分子標的療法
3 年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	中川 秀彦	光制御可能な NO・活性酸素ドナー化合物の開発
3 年目	大阪市立大学大学院 医学研究科	泉 康雄	超小型ミニブタを用いた新たな薬効評価系の確立
2 年目	熊本大学大学院 生命科学研究部	香月 博志	加齢・生活習慣要因による視床下部機能の変調に関わる分子機序の解明
2 年目	東京大学 工学系研究科	柴山 創太郎	「大学の企業化」による医薬品研究開発に対する影響の分析
2 年目	昭和薬科大学	岡本 巖	動的活性制御を指向した環境応答型新規 <i>N</i> -アルキル芳香族アミドの創製
2 年目	名古屋工業大学大学院 工学研究科	柴田 哲男	不活性結合活性化を伴うトリフルオロメチル化反応の開発
2 年目	北海道大学大学院 先端生命科学研究院	比能 洋	筋ジストロフィー、多発性硬化症などの神経疾患に関与する <i>O</i> -マンノース型糖鎖修飾の合成化学的機能解明
新規	京都大学大学院薬学研究科	竹本 佳司	抗多剤耐性結核菌活性を有する caprazamycin 類の合成研究
新規	山形大学地域教育文化学部 食環境デザインコース	鈴木 拓史	希少糖 (レアシュガー) の消化管吸収機構と小腸機能回復に与える影響
新規	金沢大学医薬保健研究域 (薬学系)	加藤 将夫	有機カオチン膜輸送体の臓器疾患と薬物治療に及ぼす役割
新規	東京大学大学院医学系研究科	浦野 泰照	蛍光プローブの論理的精密設計に基づく、細胞生命現象・in vivo 微小がんイメージングの実現
新規	鳥取大学医学部 分子薬理学分野	富田 修平	肺高血圧症に伴う血管リモデリングに寄与する低酸素応答性エフェクター分子の解析

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×2 件 = 計 500 万円)

助成	所属	研究者	研究テーマ
2 年目	京都大学大学院薬学研究科	高須 清誠	小員環炭化水素を構造素子とする創薬リード化合物の創製
新規	大阪大学微生物病研究所	山縣 一夫	メチル化 DNA 可視化マウスを用いた病態評価法の確立

以上

第33回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日時：平成26年7月15日(火)13時00分から17時20分

場所：塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号)

TEL：06-6331-5105【事務局直通】，06-6331-8081【代表】

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演題 (講演25分、討論15分)

座長

13:05-13:45 1. 新規7員環構築反応の開発とその応用
斎藤 慎一 先生 首藤 紘一先生
(東京理科大学理学部 第一部化学科) 代理 近藤 裕郷氏

13:45-14:25 2. 触媒メカニズムに基づいたヒストン脱メチル化酵素阻害薬の創製
鈴木 孝禎 先生 大和田 智彦先生
(京都府立医科大学大学院医学研究科 医薬品化学)

14:25-15:05 3. 赤外円二色性スペクトルによる分子キラル分析法の開発
門出 健次 先生 西村 紳一郎先生
(北海道大学大学院 先端生命科学研究院)

15:05-15:20 休憩

15:20-16:00 4. マスト細胞からのヒスタミン放出機構の解明
平嶋 尚英 先生 桐野 豊 先生
(名古屋市立大学大学院薬学研究科
生体超分子システム解析学分野)

16:00-16:40 5. 人工血管内腔狭窄機序の解明とキマーゼ阻害薬による狭窄予防
金 徳男 先生 宮崎 瑞夫 先生
(大阪医科大学 薬理学教室)

16:40-17:20 6. 《特別研究助成》
慢性骨髄性白血病の病態形成における骨髄微小環境誘導性分子制御の
解明と治療応用
黒田 純也 先生 シオノギ製薬株
(京都府立医科大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学) 田中 秀和氏

以上

前記のとおりご報告いたします。

平成 27 年 6 月

公益財団法人 篷 庵 社

理事長 武 田 禮 二

附属明細書

平成 26 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 27 年 6 月

公益財団法人 篷庵社